

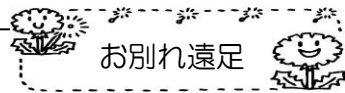


## ひなまつり

『桃の節句』といわれるこの行事は、女の子の成長を祝うお祭りです。もともとは中国で3月の最初の巳の日に行われていた「上巳（じょうし）の節句」と、日本の人形信仰が結びついたものといわれています。「上巳の節句」とは、川で身を清め、不浄をはらう行事で、邪気をはらう力があるといわれた『桃花酒』を飲む習慣があったようです。また、日本の人形信仰とは、紙や草で作った人形で体をなで、自分のけがれを人形に移して川や海に流すというものです。室町時代から江戸時代にかけて簡単な人形から装飾的な人形へと変化していきました。

引用一年中行事なるほど BOOK—

2日(火)にひな祭り・誕生会をします。ひな飾りを見たり、歌を一緒にうたったりして大きくなったことを喜び合いたいと思います。



## お別れ遠足

### 幼児クラス（3・4・5歳）

大好きなしろ組のお兄ちゃん・お姉ちゃんに手をつないでもらって、遠足に行きます。歌をうたいながら歩いたり、おしゃべりを楽しみながら歩き、比治山や公園でたくさん触れ合って遊びます。

今年は、クラスごとに日にちが違います。詳細につきましては、後日ミニコミでお知らせしますのでよろしくお祈りします。



### 29日(火) もも組

早春の気持ち良い気候のなか、園バスに乗って遠足に行きます。持ち物など詳細は、後日お知らせいたします。

みんなで楽しい思い出をつくりたいと思います。

## 「人の話を聞く耳を育てる」

平成27年度もあと残すところ僅かとなりました。4月には子どもたちはそれぞれ進級・進学していきます。進級・進学しても、保育者は子どもたち一人ひとりを見守り続けていきます。大切な「みみょうっ子」です。何かありましたらいつでもご相談ください。

さて、少し前の話になりますが、1月に年長組さんが比治山小学校へ「なかよし会」（学校参観）に行ってきました。体育館で現1年生の歌や合奏などを聞かせてもらったり、一緒にじゃんけん列車をして遊んだり、教室や持ち物を見せてもらったり、とても有意義な時間になりました。子どもたちは何に対しても興味を示し、目を輝かせていました。しっかりと先生の話も聞いていたと思います。

就学にあたっては、読み書きや簡単な数字の理解、時計の読み方くらいはできるようになってほしいという学校関係者もありますが、保育園は小学校との連携機関ではありませんが決して学校教科の準備機関ではありません。それよりも大切にしたいことは、○友だちと仲良く遊ぶ。○自分からあいさつができる。○先生や友だちの話がしっかり聞ける。○自分の気持ちや意見を言葉で表現できる。○自制心や規範意識ができていく。○集中して長時間（授業時間である45分間）取り組むことができることであることであろうかと思えます。

近年の子どもの育ちの変化の特徴として、□基本的な生活習慣の欠如。□コミュニケーション能力の不足。□自制心や規範意識の不足。□運動能力の低下。□学びに対する意欲・関心の低下などが課題であるとの指摘もあります。すべてに肝心なことは、「人の話を聞く耳」が育っているかどうかです。「人の話を聞く耳」が育っていれば、親や先生、友だちのいうことや考えていることが理解できます。聞く力は、すべての学習において必要なことであり、人の話に耳を傾けられることができれば自然と学習に対する集中力が身についてきます。コミュニケーションや自制心も聞く力が必要です。従っ

て、保育園生活では、小学校教育の先取りをした学習能力を身につけるのではなく、あそびや友だちとのかかわりの中で、「人の話を聞く耳」を育てることが基本であると考えています。

では、「人の話を聞く耳」を育てるにはどうすればよいのか。①受けとめてくれる人がいる…自分を受けとめてくれる、あるいはありのままに認めてくれるという実感を得たときに、人の言い分にも耳を傾けるようになります。②大人による読み聞かせ…一方的に読むだけでなく、どんなことが書いてあったか？など問いかけることが話への興味・関心をもつことにつながり、聞く耳を育てます（また読み聞かせは、人の気持ちへの感性、気持ちを言葉にできる、我慢できる、語彙（単語のあつまり）が増えるといった効果もあります）。つまり、心の対話（受容、共感、傾聴）が聞く耳を育てると考えます。

幼児教育の世界では、0～9歳までを「原体験期」といい、この間の経験がその後の成長に大きな影響を及ぼすと考えられています。何度も申しませんが、子どもはこの時期に親や保育者など周囲の大人たちに可愛がられ、受けとめられ、認められることで、自分はかけがえのない大事な存在だという「自己肯定感」が育まれます。そして、安心感や人に対する信頼感が芽生え、友だちとのあそびを通してコミュニケーション能力を獲得していきます。

ご家庭においても、大切な愛しい存在であるということをしつかりと言葉と行動で伝えるとともに、絵本の読み聞かせをベースに、積極的にお子さんの思いを受けとめ、かかわってほしいと思います。また、朝食の欠食と睡眠時間が鍵となってきます（5歳児の睡眠時間は個人差にもよりますが11時間程度がひとつの目安と言われています）。お忙しいとは思いますが、子ども中心の生活リズムになるよう心掛けていただければと思います。

園では、気持ちを緩めることなく一日一日を大切にして進級、進学を迎えたいと思います。引き続きよろしくお祈りします。



## 卒園式 12日(土)

時間：午前10時00分より

場所：第二みみょう5階ホール

年長児の成長と門出を心をこめてお祝いしたいと思います。いつもと少し違う雰囲気の中で、一人ひとりの思い出になる式になれば何よりです。

## 茶話会 12日(土)

卒園式後の茶話会では、担任をはじめかかわりのあった職員も加わって、楽しかったこと、頑張ったことなど保護者のみなさまと一緒に語り合い、思い出のひとつにしたいと思っています。

またこの度卒園する新一年生を迎えての、お楽しみ会を5月のはじめ頃に予定しています。卒園しても、いつまでもみみょうの子どもたちとして見守っていきたいと思っています。



怒りは、怒りで抑えつけるよりも、

抱っこの方がはるかに早く泣き止む。

明橋 大二著

「子育てハッピーアドバイス」より

「平和都市 みんなでつくる 防火の輪」  
広島市南消防署

